

電車

宮沢賢治

青空文庫

第一双の眼めの所有者

(むしやくしやした若い古物商。紋付と黄の風呂敷ふろしき)

第二双の眼の所有者

(大学生。制服制帽。大きなめがね。灰色ツツクの提さげ鞆かばん)

第一双の眼(いや、いらつしやい、今日は。よいお天気でございます。)

第二双の眼(何を晒わらつてやがるんだ。)

(失礼いたしました。へいへい。えくと、あなたさまはメフィストさんのご子息さん。今

日はどちらへ。)

(何だ失敬な。)

(あ、左様で。あ、左様でございましたか。

これはどうもまことに失礼いたしました。たいへん飛び乗りがお上手でいらつしやいます
。)

(まだ何か云いつてるのかい。失敬ぢやないか。)

(さうさう。あなたはメフィストさんとはアウエルバッハ以来お仲がよろしくないのです

な。ついおなりがそつくりなもんですから、まあちよつと相似形、さやう、ごく複雑な立
体の相似形といふやうにお見受けいたしたもんですから。いや、どうもまことに失礼いた
しました。）

（氣を付ける。間抜けめ。何だそのにやけやうは。）

（へいへい。なあにどうせ私などはへいへい云ふやうにできてるんですから。いや。それ
にしてもたゞ今は又もやとんだ無礼をはたらきました。ひらにひらにご容赦と。ところで
お若いのにそのまん円な赤い硝子のべつ甲めがねはいかがでせうか。いかゞなもんでござ
いませう。な。）

（氣持ちの悪いやつだな。この眼鏡めがねかい。この眼鏡かい。おれは乱視だから仕方ないさ。）
（あつ、ああ、なる程乱視。乱視でしたか。いや、それならば仕方ござんせん。なるほど、
なるほど。とにかくしかしそれにしてもと、あんまりお帽子の菱ひしがたが神経質にまあ一
寸詩人のやうに鋭く尖とがつていささかご人体にんていにかゝはりますが、）

（えい、畜生まだ何か云つてやがる。何だ、きさまの眼玉は黄いろできよろきよろまるで
支那しなの犬のやうだ。ははあおれはドイツできさまの悪口を云つてやる。判わかるか。）

〃 [Was fur ein Gesicht du hast!] 〃 おや。）

(何だと。" [Nein, mein Ju:ngling, sage moch einmal, was fu:r ein Gesicht du machst !]")
 そつちの方で判るかい。おまへのやうな人道主義者は斯^かう云ふもんだ。Hast では落第だ
 よ。)

(ふん。支那人と思つたらドイツとのあひの子かい。)

(いゝえ。どう致しまして。お前こそ気をつけろよ。自慢らしくドイツなどをもち出した
 からこんなもんさ。へん。お前なんか気の毒な鼠^{ねずみ}の天ぶらだ。)

(まだ見てるのかい。よくよく執念深いやつだ。夫婦^{ふうふげんくわ}喧嘩の飛ばつちりはよして呉^くれ。)

(へい。ちとお遊びに。)

(又によけてやがる。どうせきさまは周旋屋か骨董屋^{こつどう}だらうぜ。そこでな、おれが判事
 になつたとき丁度めぐり合ふとしようか。ああもう降りるかい。えゝと落ちぶれた成金さ
 んによろしく。)

(さよなら。ひよっこさん。大きなまちの挨拶^{ほこり}の中だ。くるくる廻つてへたばらないやう御
 用心。)

(えい。勝手にしろ。お別れにたゞ一言ご忠告いたします。電車がとまってからお降りな
 さいだ。)

（
プ
イ。
）

青空文庫情報

底本：「新修宮沢賢治全集 第十四卷」筑摩書房

1980（昭和55）年5月15日初版第1刷発行

1983（昭和58）年1月20日初版第4刷発行

※（）の行が2行以上に及ぶ場合は、1字さげになっています。

※本作品中には、身体的・精神的資質、職業、地域、階層、民族などに関する不適切な表現が見られます。しかし、作品の時代背景と価値、加えて、作者の抱えた限界を讀者自身が認識することの意義を考慮し、底本のままとしました。（青空文庫）

入力：林 幸雄

校正：mayu

2003年1月10日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

電車

宮沢賢治

2020年 7月18日 初版

奥付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>